

あおぞらだより

第120号 (発行/平成25年5月)

消防訓練

お花見会

劣 化

江戸川病院院長 新村ヨシオ

劣化は品質や性能が低下することである。劣化という言葉は、高速道路のトンネルの天井板崩落事故を契機に、よく耳にするようになった。そうは言っても製造品は恒久的に新品のままで長持ちするわけではない。頑丈な鉄やコンクリートでも耐用年数があり、金属疲労やひび割れなどが生じて劣化してくる。国も国内のインフラの劣化を認め、国土強化策に乗り出している。高度成長期に建設したものが、40年以上経過しているからだ。どんなに技術や製造方法が発達しても永久に劣化



ない。劣化部位を交換し対応できるものならば良いが、広範囲のものは作り替えなければならない物もあり、大変な費用を要する。必要箇所を修理するだけでも莫大な予算が必要であり、今の税込ではとても不可能と指摘する人もいる。

劣化が気になりだすといろいろな所に目配りしてしまう。今年は5月の連休を利用し墓参りに行ってきた。中央高速道の例のトンネルもくぐってきたが、補修のあとがあり、ひび割れを修復したと思われる模様も沢山みられた。途中高速道路をまたぐ高架橋を見ると欄干などから錆が浮かんで変色している部分が多く見られた。一般道に下りて走行中も、いつになく凸凹感を強

(…次ページに続きます。)

所によっては、道路にできた穴をアスファルトで埋めただけの個所が多かった。それはこの近郊でも多いので単に比較はできないが、新設のバイパスや改修後の道路に差しかかると急に音が静かになる。それも束の間で殆んどうるさかった。さすがに観光用の道路は快適に走れたが、それでもつぎはぎだらけの個所も多かった。

劣化は社会インフラだけでなく、自動車、電気製品をはじめ、生活必需品も壊れてゆく。故障すれば再購入しなければならず、出費は嵩むが、想定内のことだ。ただ単発的に修繕したり、交換などで済めば良いが、高価なものがたて続けに必要になると困るものである。自宅にしても劣化が起こり、冷暖房をはじめ、電化製品そして防犯装置などほぼ同時に使用不能となり交換となった。修理するより買った方が安いと、どの業者も口裏を合わせたかのように新製品を押しつけてくる。部品はあるが、取り寄せに時間がかかり、機械の心臓部なので、部品代も高くなると説明してくる。ひとつは直るが別な個所も故障すると脅かしてくる。これは病院内の備品についても同じことで交渉に疲れる。その判断を保留し、心配が続いていることが幾つか残っている。

劣化の陰の部分だけを考えてきたが、客観的に考えると陽の部分は社会を動かすことになるのか。国家規模での修理や改修は、金額も大きく人の雇用も増えるし、経済の活性にも繋がるのか。買い替えによる消費の増大でお金も回るようになるし、景気回復の一助になるであろう。社会のインフラの脆弱化は国力の低下になるし、これも後世の人に負の遺産として残すことになるので、我々が責任を持って対応しなくてはならない。劣化を主題としていたら自身の劣化にも気づき、記憶力の鈍化や体力の回復の遅延を年々感じるようになってきた。人の名前が憶えにくくなり、些細なことで筋肉痛が出現し、疲労回復も遅れ残念な気持ちにさせられている。でも残された時間を健康で生活できるよう諦めることなく、鍛練と養生を組み合わせて頑張るつもりである。



平成25年度前期 消 防 訓 練

4月26日(金)14:00~15:00 避難訓練及び消防訓練が行われました。第1部は病棟内からの出火を想定した避難訓練で、患者様、職員が参加しました。火災発生から避難の放送が入り、落ち着いた様子で皆さん非難することが出来ました。今回は寒さや雨天も想定に入れ、屋内の安全な場所への移動でした。職員の誘導の声も聞かれ、迅速に避難場所へと集まることが出来ました。



第2部は職員を対象とした消防訓練が行われました。火災発見から消防署への通報の仕方、初期消火の為の消火栓、消火器の使用法、避難誘導の際の注意点などを改めて確認しながら訓練がすすめられました。参加者全員が真剣な顔つきで訓練に取り組む姿が見られていました。



毎週一生懸命練習して、皆さんに聞いて頂き評価され、最高で賞を頂き、患者さま一同



お花

みんな楽しそうに参加されていました。ボランティアの「さきがけ」様を中心に患者様、デイケアの皆様、スタッフ一同となって、ソーランを踊り、楽しく行えました。笑顔があふれ、とても良い時間でした。合唱コンクールでは『春の小川』を歌い、楽器を使いながら楽しく歌えました。

今回のお花見会はソーラン鑑賞と合唱コンクールの2本立てとなっていました。ソーラン鑑賞では昨年も来ていただいたボランティアの「さきがけ」さんをお呼びし、踊りを披露していただきました。デイケアの皆様も踊りに参加し、患者様やスタッフも、次第に踊りに引き込まれていき、会場の皆様が一つとなりとても楽しいひとときとなりました。合唱コンクールでは、各病棟それぞれ練習してきた歌を発表し、楽器を使用したり、衣装を工夫したりと各病棟特長がありとてもすばしかったです。今回は室内で行うこととなりましたが、患者様の笑顔がたくさん見られたので、とても充実した会となりました。





ハーモニーがよかったと
「よく頑張ったで賞」をもら
いました♡

ボランティアの人のソーラン
節の踊りが盛大で格好よかつ
たデス。来年は一緒に踊れれ
ばいいな。



キヨシのズンドコ節
当日は楽しい雰囲気のもとで
盛り上がりました。
ズン・ズンズン・ズンドコ
キヨシ〜
あー楽しかった

見 会

準備から当日の南中
ソーランまで出番が
多く、やり遂げた感
があり、最高でし
た。



4月20日(土)お花見会が行なわれました。院庭での実施を予定していたのですが、当時は天候が悪く、外は肌寒かったので、1・2・3病棟はひまわりで、D・E病棟は機能回復訓練室での実施となりました。デイケアの歌、さきがけさんの踊り、なかでも、コラボのおどりは患者さまもまじえ、楽しく踊る事が出来ました。患者様もみんな笑顔で盛り上がり、あっという間の時間でした。また来年も楽しい会を開けたらと思います。

江戸川病院 5月 院内行事予定

誕生会

3-2棟	5月15日(水) PM2:00~	病棟
2-1棟	5月18日(土) PM2:00~	病棟
2-2棟	5月20日(月) PM2:00~	病棟
1棟	5月21日(火) AM10:00~	病棟
D棟	5月25日(土) PM2:00~	D棟訓練室
E棟	5月25日(土) PM2:00~	6Fホール

さくらんぼシアター 5月14日(火) PM2:00~ ひまわり

編集後記

ようやく初夏の陽光が感じられる今日この頃となりましたが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。5月は、本格的な春の訪れとともに患者様に光を感じて頂きたく、お花見会を始め、江戸川病院自慢の院庭でのレクリエーション等を積極的に取り入れております。また、恒例の防災訓練も院内をあげて行うことが出来ました。その様子を、皆様に見て頂けたかと思えます。

『あおぞらだより』に関するご意見・感想・ご投稿などは『医療相談室』までお寄せ下さい。(内線 238)

医療法人社団 全生会 江戸川病院

〒278-0022 千葉県野田市山崎2702
電話 04-7124-5511 (代)
<http://www.edogawa-hp.com>

前回脳トレの答え：取捨選択、奇々怪々、整理整頓、器用